

## 2014 年度 入学 試験 問題

# 日本史 B

(試験時間 13:25~14:25 60分)

1. この問題は、入学願書提出時に選択した科目の問題です。科目名を確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、記述解答用紙のみです。
3. 解答は、必ず解答欄に記入してください。なお、解答欄以外に書くと無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。
5. 解答用紙には、受験番号と氏名を必ず記入してください。



I 次の〔A〕～〔C〕の文章あるいは史料を読んで、下記の設問に答えなさい。(20点)

〔A〕 1991年9月19日に、アルプスにあるイタリア・オーストリア国境のエッツ溪谷(海拔3210メートル)の氷河で、約5300年前の男性のミイラが発見された。彼の周囲から見つかった物品は、ヨーロッパの青銅器時代前期の物であることが判明した。

〔B〕 「ここに天平十五年歳は癸未に次る十月十五日を以て、菩薩の大願を發して盧舍那仏の金銅像一軀を造り奉る。」(『続日本紀』原文は漢文)

〔C〕 「六波羅殿の御一家の君達といひてしかば、花族も栄耀も面をむかへ肩をならぶる人なし。されば入道相国のこじうと平大納言時忠卿ののたまひけるは、《此一門にあらざらむ人は皆人非人なるべし》とぞのたまひける。」

(『平家物語』より抜粋)

問(1) 下線部①について、約5300年前の日本の状況を表した内容として正しいものを、次の(ア)～(カ)のなかから2つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

(ア) 北海道では、漁労・狩猟に基礎を置く擦文文化が成立した。

(イ) 長野県棚畑遺跡から出土した土偶は、自立可能な立像であり、村落共同体レベルでの祭祀に使われるようになったものと考えられている。

(ウ) 岡山県津雲貝塚で出土した170体以上もの人骨は、多くが屈葬されており、成人のほとんどに抜歯のあとがみられた。

(エ) 竪穴住居が広場を囲んで建てられるかたちで集落が作られるようになり、青森県三内丸山遺跡でみられるように、集合住宅と考えられる大型の竪穴住居をともなう集落も形成された。

(オ) 沖縄県港川の海岸に近い石切場で、頭骨を含め全身骨格の残る港川人が発見され、それは人類史研究の重要な史料となっている。

(カ) 長崎県福井洞穴では、細石刃とともに爪形文土器や隆起線文土器が出土した。それらの出土品により、当時の土器製造文化が示されることとなった。

問(2) 下線部②について、日本で青銅器が普及した弥生時代に関わる内容として正しいものを、次の(ア)～(カ)のなかから2つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (ア) 埴輪をめぐらした墳丘の頂上部に、大きな竪穴を掘って竪穴式石室などの埋葬施設を設けた古墳が作られた。
- (イ) 縄文海進による海面の上昇で、日本列島の内陸部にまで海が進入し、湖沼の発達とも相まって、丸木舟の製作が盛んに行われるようになった。福井県ユリ遺跡では、丸木舟が、その全体像が示される形で出土している。
- (ウ) 佐賀県吉野ヶ里では、丘陵地帯を一周する環濠が出現し、集落が発展していくとともに防御が厳重になり、墳丘墓や甕棺が多く見られるようになった。
- (エ) 青森県砂沢遺跡において水田跡と水田稲作と関係する遠賀川式土器が確認されており、東北地方への稲作文化の伝播が示されている。
- (オ) 東京都中里貝塚では、自給自足的な範囲を越えて内陸の他の集落へ供給することを目的とした貝の加工処理場があったことを示す各種の遺構・遺物が出土している。
- (カ) 奈良県藤ノ木古墳では、石棺から多数の玉類、銅鏡、大刀・剣など、豊富な副葬品が検出され、石室内からも華麗な装飾がある金銅装馬具や武器・武具などが発見された。

問(3) 下線部③の天平十五年(743年)に、墾田永年私財法が制定されたが、墾田が加熱し過ぎたため、天平神護元年3月(765年3月)に墾田私有を禁止する旨の太政官符が発布された。称徳天皇の後見役となり、この太政官符の発布をすすめた人物はだれか。その人物名を漢字で解答欄に記入しなさい。

問(4) 下線部④の「盧舎那仏」は、東大寺の本尊として鑄造されたが、その造営に関わった大僧正で、仏教の民間布教に尽力した人物はだれか。その人物名を漢字で解答欄に記入しなさい。また、大仏の開眼供養が天平勝宝四年(752年)に盛大に営まれた。その際の天皇の名を漢字で解答欄に記入しなさい。

問(5) 下線部⑤の「六波羅殿の御一家」の繁栄を願って作成された『平家納経』は、どこに奉納されたか。奉納先を、4字の漢字で解答欄に記入しなさい。

問(6) 下線部⑤の「六波羅殿」が、上皇の信任を得て、法住寺御所近くに造営した寺院の名を、漢字で解答欄に記入しなさい。

問(7) 下線部⑥の『平家物語』は、鎌倉時代の文学作品の一つである。次の(ア)~(オ)のなかから、鎌倉時代の作品群として正しいものを1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

(ア) [『方丈記』・『保元物語』・『太平記』・『新古今和歌集]]

(イ) [『徒然草』・『吾妻鏡』・『源平盛衰記』・『今鏡]]

(ウ) [『宇治拾遺物語』・『曾我物語』・『増鏡』・『平治物語]]

(エ) [『今昔物語集』・『山家集』・『海道記』・『十六夜日記]]

(オ) [『金槐和歌集』・『古今著聞集』・『水鏡』・『愚管抄]]

II 次の〔A〕～〔C〕の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(30点)

〔A〕 1429年、足利義教は將軍についたが、正長の土一揆の高まりのなかで権力は不安定であった。義教は將軍権力の強化をめざして専制的な支配をおこなった。かねてから將軍の地位をねらっていた鎌倉公方の〔1〕は、1438年、義教への反感が強いのをみて反乱をおこしたが、義教はこれを討伐した。下総の〔2〕が〔1〕の遺児を擁してたてこもったが、これも鎮圧された。しかし、守護への圧迫をますます強める義教を恐れた〔3〕は、1441年、義教を自邸に招き、謀殺するに至った。その後、將軍の權威は大きく揺らいでいった。

〔B〕 5代將軍となった徳川綱吉は、はじめ〔4〕を大老に任じ幕政をひきしめ、側用人の柳沢吉保を重く用いて將軍の権力を強めた。綱吉は、前代の文治主義的傾向をさらに進め、儒教倫理を重視する政策をおこなった。江戸の湯島に孔子をまつる聖堂をたて、〔5〕を大学頭に任じた。また、天文方には〔6〕を、歌学方には北村季吟をそれぞれ登用した。

さらに、綱吉は財政難を解決するために、荻原重秀の意見を入れ、貨幣改鑄をおこなった。慶長金銀よりも金銀含有量をさげた〔7〕金銀を鑄造し、改鑄益金を幕府財政に組み入れた。

〔C〕 19世紀になると、百姓一揆や打ちこわしの増加、商品經濟の進展などの社会的変化のなかで、多くの藩で藩政改革が実施された。村田清風を登用して財政改革に取り組んだ長州藩は、藩債の整理や専売制の手なおしをおこなうとともに、〔8〕を設けて下関に寄港する廻船に対する金融や積荷の保管をおこなわせ大きな利益をあげた。

佐賀藩では、藩主〔9〕の主導により、〔10〕を実施して地主制をおさえ、陶磁器の専売によって財政を安定させた。

水戸藩では、藩主〔11〕が率先して財政再建と対外危機に備えて改革を進め、藩校弘道館の設置や反射炉の建設などをおこなった。

③

問(1) 空欄  ～  に当てはまる語句を、漢字で解答欄に記入しなさい。なお、同じ番号の空欄には同じ語句が入る。

問(2) 下記の史料（適宜読み下し等の修正をしています）は、1428年に起った下線部①の「正長の土一揆」に関するものである。空欄 ,  に当てはまる語句を、漢字で解答欄に記入しなさい。

〔史料〕

九月 日、一天下の土民蜂起す。 と号し、酒屋・・寺院等を破却せしめ、雑物等恣にこれを取り、借錢等悉くこれを破る。管領これを成敗す。凡そ亡国の基、これに過ぐべからず。日本開白以来、土民蜂起是れ初めなり。

問(3) 下線部②の「北村季吟」の著作を下記のなかから選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (ア) 花鳥余情      (イ) 閑吟集      (ウ) 万葉代匠記      (エ) 国意考  
(オ) 古史通      (カ) 源氏物語湖月抄

問(4) 下線部③の「藩校弘道館」に関し、『弘道館記述義』を著し尊攘思想を説いた水戸学者は誰か、漢字で解答欄に記入しなさい。

Ⅲ 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(20点)

日本の自由民権運動の発展にとって新聞や雑誌が果たした役割は大きい。藩閥政府による上からの近代化に対して、人権思想に基づき、国民の政治参加、国会の開設を求めた自由民権運動にとって、言論活動が生命線であった。この時期の新聞には、独自の政治的主張をするものが多かった。1870年に日本最初の日刊紙として発刊された [ 1 ] は、民権派の有力新聞であった。1872年に創刊された『郵便報知新聞』は、1882年に [ 2 ] 党の結成とともに機関紙となった。これらの新聞は、明治時代以前から庶民の情報伝達手段として発行されてきた瓦版を継承する小新聞に対して、 [ 3 ] と呼ばれた。森有礼や福沢諭吉などの洋学者が明治初期に発行した『明六雑誌』、徳富蘇峰が1887年に創刊した『国民之友』などの雑誌も、近代思想の普及に貢献した。

新聞や雑誌は、大正デモクラシーや大正から昭和初期の大衆文化の発展にも大きな役割を果たした。大正末期には、国民の識字率がほぼ100%に達したことも手伝って、新聞や雑誌が広範な国民に読まれるようになった。『大阪朝日新聞』、『大阪毎日新聞』はいずれも発行部数が [ 4 ] 部を超えるようになった。各種の雑誌が発行されたが、『中央公論』や『改造』などは、小説や軽い読み物・論文・評論までをカバーしていたことから [ 5 ] と呼ばれた。改造社が1冊1円という廉価で発行した文学シリーズの [ 6 ] は、円本ブームに火をつけた。他にも『キング』などの大衆娯楽誌や『赤い鳥』などの児童文学関係の雑誌も、多くの読者を獲得した。

大衆文化は、活字・紙媒体以外のマス・メディアの登場によってさらに発展した。音声文化として、ラジオ放送が [ 7 ] 年に開始され、翌年には、日本放送協会(NHK)が設立された。当初映像だけで弁士の解説つきで上映された無声映画(サイレント)は、新たな大衆娯楽として人気を博した。1930年代には、 [ 8 ] と呼ばれた有声映画になり、いっそうの発展を遂げた。活字・音声・映像という媒体を使った大衆文化の興隆は、国民の生活をより豊かなものとする反面で、その後の軍国主義化の流れにおいて、国民の思想を統制する手段としても機能した。

問(1) 空欄  ～ , ,  に当てはまるもっとも適切な新聞名, 政党名, 語句を, 解答欄に書きなさい。

問(2) 空欄  に当てはまるもっとも適切な数値を, 下記の選択肢のなかから選び, 記号を解答欄に書きなさい。

(ア) 10万      (イ) 50万      (ウ) 100万      (エ) 300万      (オ) 500万

問(3) 空欄  に当てはまるもっとも適切な全集名を, 下記の選択肢のなかから選び, 記号を解答欄に書きなさい。

(ア) 近代日本文学全集      (イ) 現代日本文学全集      (ウ) 近代世界文学全集  
(エ) 現代世界文学全集      (オ) 大衆文学全集

問(4) 空欄  に当てはまるもっとも適切な西暦年号を, 下記の選択肢のなかから選び, 記号を解答欄に書きなさい。

(ア) 1920      (イ) 1923      (ウ) 1925      (エ) 1927      (オ) 1929

問(5) 下線部①に関する以下の文章の空欄に当てはまるもっとも適切な語句を, 解答欄に書きなさい。

瓦版を継承する小新聞は, 内容的に報道・娯楽中心の大衆紙であり, 江戸時代以来の大衆文芸である  文学の復活に貢献した。

問(6) 下線部②に関して, 1912年に設立された映画会社名を, 下記の選択肢のなかから選び, 記号を解答欄に書きなさい。

(ア) 日活      (イ) 東映      (ウ) 松竹      (エ) 大映      (オ) キネマ

IV 次の〔A〕～〔D〕の史料を読んで、下記の設問に答えなさい。(30点)

〔A〕 余嘗て ①・足利の機業地に遊び、聞いて極楽、観て地獄、職工自身が然かく口になせると同じく、余も亦たその境遇の甚しきを見て之を案外なりとせり。  
(中略) 若し各種労働に就き、其の職工の境遇にして憐れむべき者を挙げれば ② 職工第一たるべし。

〔B〕 歳ハ庚子に在り八月某夜、金風漸瀝として露白く天高きの時、一星忽焉として墜ちて声あり、嗚呼 ③ 死す矣、而して其光榮ある歴史ハ全く抹殺されぬ。

〔C〕 元始、④ は実に太陽であつた。真正の人であつた。今、④ は月である。

〔D〕 ⑤ 陥落が吾輩の予想より遙かに早かりしは、同時に戦争の不幸のまた意外に少なりし意味において、国民と共に深く喜ぶ処なり。しかれども、かくて我が軍の手に帰せる ⑤ は、結局いかに処分するを以て、最も得策となすべきか。

問(1) 〔A〕～〔D〕の史料を古い順に並べたとき、3番目に古い史料はどれか、記号を選び、解答欄に記入しなさい。

問(2) ① ～ ⑤ の空欄に入るもっとも適切な語句を解答欄に漢字で記入しなさい。

問(3) 史料〔A〕の論説はある著書の一節である。著書名を解答欄に漢字で記入しなさい。また、著者名を下記の選択肢から選んで、解答欄に記号で答えなさい。

- (ア) 細井和喜蔵 (イ) 横山源之助 (ウ) 山川均 (エ) 大杉栄  
(オ) 賀川豊彦

問(4) 史料〔B〕の論説の筆者を解答欄に漢字で記入しなさい。また、この著者らが中心となって日本で最初の社会主義政党を結成したが、創立者として適切ではないものを下記の選択肢から選んで、解答欄に記号で答えなさい。

- (ア) 堺利彦      (イ) 安部磯雄      (ウ) 片山潜      (エ) 木下尚江  
(オ) 河上清

問(5) 史料〔B〕のこの論説が掲載された雑誌もしくは新聞の創刊者の名前として、もっとも適切なものを下記の選択肢から選んで、解答欄に記号で答えなさい。

- (ア) 黒岩涙香      (イ) 三宅雪嶺      (ウ) 内村鑑三      (エ) 高山樗牛  
(オ) 山本実彦

問(6) 史料〔C〕の論説の筆者を下記の選択肢から選んで、解答欄に記号で答えなさい。

- (ア) 平塚らいてう      (イ) 山川菊栄      (ウ) 市川房枝      (エ) 奥むめお  
(オ) 伊藤野枝

問(7) 史料〔C〕の筆者は与謝野晶子と女性の自立に関して激しく論争を繰り広げた。この論争の名称を解答欄に漢字で記入しなさい。

問(8) 史料〔D〕の論考が掲載された雑誌もしくは新聞名を下記の選択肢から選んで、解答欄に記号で答えなさい。

- (ア) 万朝報      (イ) 日本人      (ウ) 東洋経済新報      (エ) 太陽  
(オ) 世界

問(9) 史料〔D〕の筆者は、その後、蔵相となる。史料〔D〕の筆者が蔵相となった内閣のときの首相名を下記の選択肢から選んで、解答欄に記号で答えなさい。

- (ア) 幣原喜重郎      (イ) 鳩山一郎      (ウ) 片山哲      (エ) 芦田均  
(オ) 吉田茂

